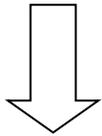


大仙市耐震改修促進計画(第4期)の概要

《 背景 》

- 東日本大震災により、戦後最大の人命を失い建築物に甚大な被害をもたらした。
- 大地震はいつどこで発生してもおかしくない状況にある。 ▶ 南海トラフ・首都直下地震…



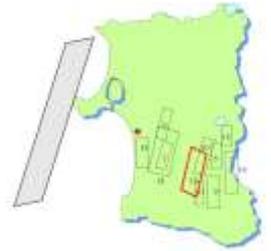
“建築物の地震に対する安全性の向上を、より一層促進するために”

- ★建築物の耐震化の促進に向けた新たな方針として、令和8年度から令和12年度までの計画を策定

《 市内の想定地震 》

- 県内の過去 27 被害地震のうちから市に被害が予想される 11 地震を想定地震として被害を推計

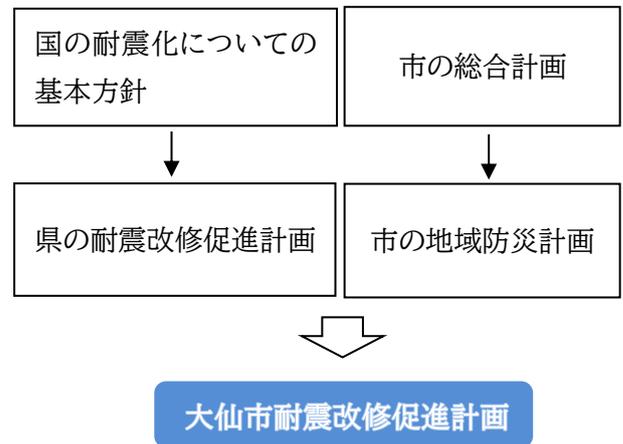
☆市内の各地域に甚大な被害が発生すると予想されるため、地震災害対策としての建築物の耐震化に努めることが必要



《 住宅・建築物の耐震化の現状 》

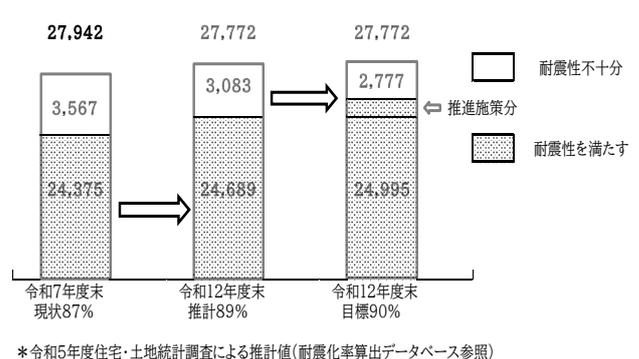
- 居住住宅
総数28,010 戸のうち、21,550戸(約77%)が木造住宅で占められている。また、耐震性がある木造住宅は約18,247戸と推計される。
- 市内の特定建築物
54棟のうち42棟(約77%)が耐震性を有していると推計される。
- 市所有特定建築物
43棟のうち42棟が耐震性を有している。

■計画の流れ■



《 住宅・建築物の耐震化の目標 》

- 耐震性を有している住宅・特定建築物※¹を令和12年度までに
 - ↳ 住 宅:現状87%→目標 90%
 - ↳ 特定建築物:現状 77%→目標 80%
 - 耐震性を有している市所有特定建築物※¹を令和12年度までに ▶ 現状 99%→目標 100%
- ※¹多数の人が利用する一定規模以上の建築物



《 総合的な安全対策 》

- 家具の転倒防止
- ブロック塀の倒壊防止
- 窓ガラス、外壁、天井等非構造部材の脱落防止
- エレベータ等の安全対策
- がけ地近接等危険住宅移転事業の促進

《 耐震化促進の施策 》

- 情報提供と相談窓口の整備
- 防災ハザードマップの活用
- 木造住宅耐震化への支援
- 市所有建築物の耐震化
- 緊急輸送道路等沿線地域の耐震化